

CBC NEWS



Vol. 57
6月号

発行日 2019年06月03日
CBCNEWS
発行所 中央聖書神学校
〒170-0003 東京都豊島区駒込3-1-0
Tel 03-3918-4925 Fax 03-3918-4064 E-mail: cbc@agf-j.or.jp
編集 広報部 発行責任者 荻野 倫夫 印刷所 樹ノロビ

神学校に入学しようとする者は、その「召し」と「献身」について十分に折り、備える事が大切です。神の召しを確信するには時があり、献身を表明するにも時間が必要です。個人的には、全てのクリスチャンは、神に召された者であり、神への献身を決意した者であると思います。

何故なら、牧師、伝道者、教師に限らず、信徒としても、神の召しが続くことは出来ないからです。途中で迷うことや、躊躇することもあるでしょう。そんな時でも神の愛は変わらず、神の恵みは尽きることがないからです。

私が日本を出てイスラエルに行った時にも、自分なりの計画がありましたが、神に従い、神と共に歩むことを求められたのです。神が召された者に備えておられる道は一つではありません。誰かと同じ道でもありません。

召しに応える

川口神召キリスト教会
安田 眞

預言者ヨナがニネベに行くように語られた時も、タルシシに逃げるように人々に求めた時も、そして、魚から吐き出されてニネベに向かった時も、その生涯の時々において神の召しを確信し、献身が求められたのです。

私たちの生涯において神の召しと神への献身が迫られているのです。たとえ私たちが神に背を向け、耳を塞いでも、神は語り続けておられるのです。そのような時には心に平安がありません。神への従順な応答こそが、心に平安が与えられる唯一の道だからです。心に神の平安が与えられるまで祈ることです。求めることです。何故なら、神は必ず応えて下さるお方だからです。

神は、御言葉をもって語りかけ、応えて下さるのです。「神は、このあわれみの器として、私たちを、ユダヤ人の中からだけでなく、異邦人の中からも召してくださいましたのです。」(ロマ9章24節)との御言葉をもちて私をイスラエルにおいて召して下さいました。

7月15日(月・祝)
授業体験型オープンキャンパス



CBC Festa 2019

★どなたでも参加できます★

神学校生活を身近に感じ
実践的な授業が受けられる
恵みいっぱいの日です

CBC フェスタ 2019 プログラム

信徒聖書学校

9:00~11:30

- ・キリスト教的認知行動療法 堀川寛先生
- ・食事の神学<聖書の食レポ> 長澤牧人先生
- ・ユースミニストリー 福井美由記先生

CBC 聖会

13:00~15:00

講師 野口一郎先生

申込・問合せ:
電話: 03-3918-4925

詳しい情報→



神学生と語ろう

15:30~17:30

CBCへの道

三宅規之校長

神学校入学を考えている方、
神学生から直接話を聞こう!
(本科コース、通信科コース)

献金によるサポートを心より感謝いたします (2018年10月~2019年3月)

ダビデの石奨学金献金:【団体】中央福音教会、神召キリスト教会、尾崎基督教会、高知聖書教会、中村福音キリスト教会、佐伯聖書キリスト教会、本渡基督教会、純福音松本恵み教会【個人】匿名1名
一般献金:【団体】中央聖書教会、天塚キリスト教会、嘉手納アッセンブリー教会、熊本聖書教会、下関シオン教会、純福音松本恵み教会、田園宮前チャペル、台北市中心神召會、台北神召會、台湾日本人教会
【個人】大野まち子、北野耕一、内村義宣、ロハソン、日吉成人、寺田文雄、大鶴正史 英里子

編集後記 CBCニュース6月号いかがでしたでしょうか。今年のCBCは新しい時代を迎えました。新しい校長、学務主任、広報部も新しい部員が入りました。新しい風に乗って、これからもよりよい内容のCBCニュースを心を込めて、作りたいと思います。 広報部 丁 慧怡



中央聖書神学校 校長

三宅規之

伝統の継承と 新しい未来へ

日本アッセンブリーズ・オブ・ゴッド教団の全国の諸教会の皆様にご挨拶申し上げます。この4月から中央聖書神学校の校長という重責を担わせていただいております。中央聖書神学校は来年2020年に、創立70周年を迎えます。長い歴史と伝統、初代の弓山喜代馬先生をはじめとする歴代の校長先生方、また携わってこられた先生方、600名を超える卒業生の皆様を覚えるとき、とても私のような者に務められる責務とは思えません。しかし、神様にすべてを捧げた人生ですので、このことも神様の計画であり、御心であると信じ、精一杯職責を全うさせていただきたいと願っております。皆様のお祈りとお力が必要です。どうぞよろしくお願いいたします。

中央聖書神学校は、特に日本のペンテコステ信仰と教会のために、大きな使命を神様から託されてい

ます。私たちは、何としてもこの使命を果たしていかなければなりません。知性と霊性のバランスのとれた働き人を養成するために、これからも出来る限りのことをしてまいります。

現在中央聖書神学校に在籍する学生は、本科生9名、通信科の伝道者コース18名、教会献身者コース21名、そして、ろう者聖書学校に8名おり、合わせて56名が学んでいます。近年日本の教団立の神学校が軒並み学生減で悩んでいるという声が聞こえる中では、本当に感謝な数字です。しかし、一方で日本の諸教会の現状を見るならば、まだまだ将来の働き人が必要とされています。どうか一人でも多くの献身者たちが、中央聖書神学校の門を叩きますよう、是非お祈りをお願いいたします。



本科

なかやま 中山 満 (十條基督教会)

ミヤザケ エルビトイン マサユキ ソウザ
(福井県越前市ブラジル人教会開拓予定)

とりい 鳥居 史臣 (日本オープンバイブル教団
町田聖書教会)

すだ 須田 デイビット ススム
(沖縄中央アッセンブリー教会)

通信科(教会献身者コース)

きょうの 京野 まさこ (アッセンブリー新潟キリスト教会)

なかお 中尾 みちる (南紀キリスト教会)

なかやま 中山 たえこ 妙子 (氷見キリスト教会)

卒業生挨拶

3月5日に無事中央聖書神学校を卒業することができました。この3年間を振り返ってみると学び、笑い、訓練、訓練溢れる3年間でした。しかし、全てに勝る神からの恵みと祝福がありました。自分の信仰の歩みに欠かせない3年間でした。これから沖縄の地で神学校で学んだことを生かし、奉仕をしていきたいと思ひます。

須田 デイビット ススム 師

通信科(伝道者コース)

いしい 石井 しんいちろう 信一郎 (但馬伝道所)

つちや 土屋 さおり (アッセンブリー新潟キリスト教会)

まつもと 松本 きょうすけ 恭介 (中村福音キリスト教会)

えのもと 榎本 まき 真紀 (インターナショナル
クリスチャン ミニストリー)

ありが 有賀 はるな 春菜 (日本チャーチオブゴッド教団
グレイスリバーチャーチ)

まつお 松尾 よしふみ 敬文 (福岡キリスト教会)

たかぎ 高木 けんじ 謙次 (天塚基督教会)

私は、そのままでは使い物にならない「土の器」です。しかも、その器の中には、罪の性質・世的な価値観・自我といった「古き自分」が残っています。そのままではとても提供できません。主の助けによりそれらを手放し、聖霊の果実で豊かに盛り付けていただく。その「決断」が伝道者としての「成功の鍵」と信じています。

石井 信一郎 師

通信科伝道者コース



せんだい みちこ
千代 美智子

福岡町キリスト伝道所

私を決して見捨てないイエス様に信頼し、明るく健康な伝道師を目指します！



はやかわ ちひろ
早川 知宏

篠原教会

これからも多くの人の祈りに支えられながら、神様の御心に応えて、学びと訓練に励んで行きたいです。

通信科献身者コース



にしたに のぞむ
西谷 望

南紀キリスト教会

神様がくれた時に感謝！神の国の拡大のため、自分を明け渡して行きたい。



あまかわ れいな
天川 麗奈

東京陽光基督教会

所属する教会で奉仕しながら、たくさんの方々に福音を伝えたいし、多くの教会で宣教したく思っております。



さかい わたる
坂井 渉

富士アッセンブリー・オブ・ゴッド教会

キリスト者として忠実さと謙遜さを先生方を通してさらに学んでいきます。



やまぐち まさお
山口 正雄

武庫川純福音キリスト教会

伝道者コースに編入した62歳です。学びを通して、主の業に用いられたいと願っています。



にしたに いぶき
西谷 衣路

南紀キリスト教会

献身者として、砕かれ鍛えられ磨かれる、貴重な時間にしたいと思っています。



ひがし ひろと
東 拓登

シティービジョン・グローリーチャーチ

神さまの愛をたっぷり受けながら、召しを全うできるよう進んでいきたいです。

2019年度 新入生紹介



本 科 生



きたざわ のぶよし
北澤 信嘉

杉田キリスト教会

3年間、イエス様のみ傍に、深くじっくりと自分を置きたいと思います！



にわやま ももえ
庭山 桃江

杉田キリスト教会

日々の生活の中で、神様のみ声に聞き従い、さらに距離を縮めて行きたいと思っています！



ひらまつ こうへい
平松 公平

和泉神愛キリスト教会

かりす ひゅみーん かい えいれーね？
ギリシャ語クラスで習った「恵みと平安があなたがたにあるように」のみ言葉の意味を深く、伝える者へ！



ひらまつ のりこ
平松 徳子

和泉神愛キリスト教会

主を見上げ、主に委ね、祈りつつ、共に歩ませていただきたいと思います。

通信科

通信科伝道者コース

新沢 愛

アッセンブリー新潟キリスト教会



主の御名を賛美します。2018年10月から半年間、新潟県新発田市にある命のパンチャーチに日曜派遣に行かせていただきました。この教会は、宣教師の方によって建てられ、今まで何組かの宣教師のご家族によって牧会されてきましたが、昨年宣教師の先生が帰国され、それ以降は新潟キリスト教会から毎週2名の信徒が派遣され、5、6名ほどで礼拝を捧げています。

この半年間は、私ともう一人の方（交代）と二人で行かせていただきました。命のパンチャーチは小さな群れの教会ですが、マタイ18章20節「ふたりでも三人でも、わたしの名において集まる所には、わたしもその中にいるからです。」とあるように、主の名によって集まり、礼拝を捧げている私たちの礼拝を、神様は喜んで受け取って下さり、礼拝の中に主が共にいて下さるのを感じました。

また、一人の方が当たり前のよう毎週来て下さるということは、本当に感謝なことなのだと思えて知ることが出来ました。今まで多くの宣教師によって蒔かれた種が芽を出し、実を結ぶことができるよう、お祈りに加えて下さると幸いです。この半年間、私を受け入れ愛して下さった命のパンチャーチの皆様と、ここまで守り導いてくださった主に感謝を捧げます。



礼拝後の昼食愛餐会



クリスマスカフェコンサート



台湾キヤラバ

今年のキヤラバンは、初の海外である台湾だった。台湾アッセンブリー理事長の顔金龍先生、丸山陽子先生の神愛教会、また先生方が日曜の午後から集会を行っている万民祈祷センター、台北神召教会、台中の神学校と新生神召教会、原住民の村である大安部落の訪問、台北市中心神召会、日本人教会に行き、それぞれ、証、特別賛美、メッセージなどの奉仕をさせていただいた。台湾の人たちは皆暖かく、良き交わりの時間を持てた。

私達は、台湾の素晴らしさを存分に味わうことが出来た。台湾では、伝統的な教会と、若者向けの教会を見てきた。伝統的な教会では、親子3世代が集い、大人から子供までの信徒教育プログラムが充実していた。若者向けの教会では、インターネット時代に、積極的にメディアやSNSを活用して伝道していた。

その姿は、日本の次世代の教会の在り方を考えるヒントとなり、神学生一人一人が刺激を受け、日本の伝道への情熱を更に熱く燃やしながら帰路に就いた。

2年坂田容子

